

天理教 江南支部だより

発行先 江南支部
発行日 立教187年10月1日
発行責任者 福西 努
発行住所 甲賀町上野461番地9

10月号 N0291



江南支部第3回ようぼく一斉活動日

- 日時：11月4日午前9時30分受付
午前10時開講
- 会場：甲龍分教会 甲南町池田3555番地
- 内容：メッセージビデオ
「おさづけ」
講師 吉岡孝之先生 近愛分教会長
- 受講お供え：300円

10月支部にをいがけデー

10月28日午前9時～
拠点教会 信楽分教会

11月支部ひのきしんデー

11月1日（金）午前9時～
鹿深の家 草刈り

朝の信仰読本

中山慶純著

陽気ぐらしにも準備が必要

二〇一五年に開催されたラグビーワールドカップ・イングランド大会で、日本代表は四戦三勝という好成績を残しました。

勝因はいろいろありますが、特にメディアが注目したのは、精度の高いキックを誇る五郎丸歩選手です。トライ後のキックは高得点につながるのです、勝利への貢献度も高い。キック前の独特のポーズも話題になりました。

しかし忘れてはならないのが、われらがホープ、天理出身のようぼくラー、立川理道選手です。

一次リーグ、強豪・南アフリカ代表との一戦。後半ロスタイムに三点を追っていた日本は、立川選手の飛ばしパス（横の選手を飛ばして、その次の選手へ投げるロングパスのこと）で大きく展開し、見事に逆転勝利を収めました。ワールドカップで二度の優勝経験があり、当時、世界ランキング三位の南ア

フリカを下したこの試合は、「スポーツ史上最大の番狂わせ」と報じられ、世界中を驚かせました。

私は、逆転トライが決まったのは、立川選手の絶妙なパスがあつてこそだと思いました。スピードのある鋭いボールが、味方の胸にスポーンと収まった。そして、敵の猛追を受けることなくボールは次の選手へと渡り、トライが決まったのです。

この素晴らしい試合運びは、日ごろの正しい練習と準備の積み重ねの賜物です。コーチが試合中に「おまえたち、パスもキックも正確に決めろ」といくら命令しても、その場でおいそれとできることではありません。厳しいトレーニングや、どのチームにも劣らない練習量など、準備に準備を重ねたうえでの歴史的勝利だったのです。

「おさしづ」に、
陽気というは、皆んな勇ましてこそ、
真の陽気という。

（明治三十年十二月十一日）

とあります。

私が日々の指針としているお言葉で

す。

このお言葉は、「さあさあ、勇みなさい」「勇まないと、陽気ぐらしできないよ」などと仰せになっているのではないと思えます。

勇め勇めと活を入れて相手が勇むのなら、こんなに簡単なことはありません。人さまに勇んでいただきたいのなら、まずは勇める状況をつくらねばなりません。「どうしても勇めない」と言う人がいたら、まずは喜ばせ、楽させて、心が明るく切り替わるように働きかける。そして、「陽気ぐらしに向かつて、一緒に頑張りましょうね」と温かく寄り添い、丹精を続けさせていただく。ラグビーで、正確なパス回しやキックができるまで練習し準備するのが同じように、陽気ぐらしにも、勇み勇ませるための準備が必要です。勇み心は喜び心から生まれます。おたすけの場面でも、このことを忘れず、「親神様が必ずいい方向へ導いてくださる」と信じて、共々に通らせていただきますしよう。



みんなの教理勉強

だめの教えって素晴らしい

飯田照明

だめ（究極）の教えの何と
ありがたいことか！

経済的、物質的豊かさも大切で
あることを教えられた

親神さまの思召は、陽気ぐらしをさ
せてやりたいということである。

食べる物がとぼしかったり、住む家
もなく、寒さをしのぐ衣服もないよう
な生活をしていては陽気ぐらしは出来
ない。陽気ぐらしには、必要最小限の
食物や衣類、住居がある。教祖は、農
産物を豊かに実らせ、海では大漁とな
り、家畜はよく太り、商業も盛んで、
工業生産も伸び、経済が繁栄するよう
にと、「ご守護」くださっている。

「ところ繁盛」が親神さまのお望みで
ある。人間が生きている所はどこでも、
生産物がたっぷりあり、経済活動も盛

んで、人々は物に不自由なく生きるこ
とを望まれているのである。

はじめて、人間と他の生物は
生命の歩みを共にしてきたと教
えられた

最初に生み出されてから、人間の生
命は、幾度も多くの生物に生まれ替わっ
て成人してきた。

五分から生み出され、五分五分と成
長し三寸になったとき皆出直すが、ま
た五分から生まれ、三寸五分になつて
また皆出直す。そして三度目に五分か
ら生まれて四寸に成長し、さらに虫、
鳥、畜類などと八千八度の生まれ替わ
りを経て、めざるが一匹残り、そこか
ら男五人女五人の人間が生まれたとお
道の創造説話に教えられている。

人間となるまでに多くの生物の歴史
をたどっているということである。他
の生命体や生物と人間とは、生命とし
て繋がっているのである。

キリスト教では、人間と動物などの
生物とは何の繋がりも関係もない。人
間は動物を支配するものとして創られ

た。人間が全ての生物界に君臨し、生
物を支配するという、人間中心の教え
である。

はじめて、人のいのちの尊さの
本当の理由を明らかにされた

陽気ぐらしするのを見て共に楽し
たいとの思いから、親神さまがいろい
ろと準備を重ね、苦労して最初の生命
を生み出された。そのあと何億年とい
う長い長い歳月をかけて、さまざま
な生物として成長し人間となったのであ
る。

人間のいのち（身体）には、その生
命がたどった何億年の歩みの歴史が息
づいており、こもっているのである。
言わば一人ひとりの人間の生命は何億
年もの昔からつづく親神さまのご守護
の結晶である。

さらに今なお、これから、身体と
いういのちの中で、親神さまは、十全
のご守護をくださり、生命を支え、生
命を育ててくださるのである。

お道の身体（いのち）の教えは、他
にない本当のヒューマニズムの教えで



修養科

この10月、修養科は千期を迎えました。たすかるところ、運命を変えるところです。行ってみませんか！

あり、人間愛の教えである。親神さまの丹精によって出来たいのち（身体）は、地上の宝物である。その貴さ、ありがたさがわかれば、誰もそれに傷つけようとは思わないだろう。

10月26日（土） 滋賀教区婦人会 おちば伏せ込みひのきしん

日頃は、滋賀教区婦人会の上にお力添え頂き、誠に有難うございます。本年は教区婦人会として、それぞれに勇んで心の成人にお励みくださっているこの時旬に、同じ地域に住まう婦人同士が横のつながりを生かして、更に年祭活動に弾みをつけたいと思っております。つきましては、秋季大祭の日におちばに帰り、あらためて立教の元一日にお込めくださった親心に思いをいたし、かぐらづとめを参拝し、祭典後には滋賀教区婦人会員が揃って、日頃の感謝の思いを込めて、喜びいっぱいにお伏せ込みひのきしんをさせて頂きたいと思っております。皆様にはお忙しいことと存じますが、一人でも多くご参加くださいますようお願い致します。

滋賀教区主任 中西はつよ

- 期 日：10月26日（土）秋季大祭祭典後、東礼拝場後方にお集まりください。一手一つにおつとめをつとめさせていただきます。
- 集 合：11時30分 おやさとやかた東左4棟前広場（雨天の場合は東左4棟吹き抜け）
- 内 容：○晴天の場合 周辺の除草清掃（軍手や草を入れる袋をご持参ください）
○雨天の場合 東左3棟、東左5棟、15母屋、旧別席場に分かれて屋内清掃約1時間ほどのひのきしんの後解散となります。
- 参加対象：どなたでも結構です。